

## 桜の聖母短期大学の三つの方針（令和2年4月1日施行）

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

桜の聖母短期大学(以下「本学」という。)は、設置母体である学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダムのミッションステートメントを教育の基本理念としています。それに基づき共通教育課程と専門教育課程を修め、68単位取得と必修等の条件を充たして、学則第2条に定めるカトリックの精神に根ざした人間観・世界観に基づく知的・倫理的見識を養い、豊かな心と深い教養をもって、愛と奉仕に生きる良き社会人を育成することを目的としています。

その実現のために、以下のことを卒業認定・学位授与の方針とします。

- ①知識・技能を修得すること
- ②豊かな心と深い教養に根ざす思考力・判断力・表現力を身につけること
- ③愛と奉仕に生きることを実践的・体験的に学び、多様な人々と協働して主体的に取り組む態度をもつこと

短期大学士課程の卒業を認定する本学の学科・専攻は、共通教育課程と専門教育課程を通じて、全ての学生に求められる正課教育の到達目標として、短期大学士に関する学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を定めています。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・技能・態度などを修得させるために、共通教育科目、専門教育科目及びその他の必要とする科目を体系的に編成しています。講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。教育課程編成を示すために、科目間の関連や科目内容の系統性を、カリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

教育内容、教育方法及び評価について、以下のよう定めます。

#### (1) 教育内容

- ①学修の基礎となる共通教育では2年間を通して、以下のことを学び、生涯を通して学習していく主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度を身につけます。
  - イ 人間総合科目群では、「聖書」を学ぶことによって「建学の精神」を深く理解し、様々な体験を通して「建学の精神」を実践的に理解します。
  - ロ 教養科目群では、学問を探究するために必要な幅広い知識と柔軟な思考を身につけ、現代社会における諸課題を正しく理解し、他の領域との関連を考慮しながら考察を深める力を養います。
  - ハ 外国語科目群では、外国語の基礎的な知識を習得し、効果的に学習する力を身につけ、異文化コミュニケーションに必要な表現力と行動力を養います。
  - ニ キャリア開発科目群では、ビジネス社会での基本となる日本語能力、ビジネス実務の基礎、コミュニケーション力、情報の活用法などのスキルを身につけ、卒業後の進路（就職、編入等）を含めたライフキャリアをデザインできる力を養います。
  - ホ 健康科学科目群では、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を養います。

②専門教育においては、専門分野の体系性に基づき、専攻や履修コースの学年・学期別に科目配置を行います。

③専門教育課程を中心とする教育内容の統合と総合化のために、2年次の卒業研究(以下「特別研究」という。)を必修とします。

## (2) 教育方法

①社会の課題を自己のものとして捉え、考え、発信するために、福祉学を必修としてボランティア活動を行い、地元の課題に気づく福島学・国内外の体験研修プログラム(国際ボランティア・国際平和論)の履修を薦めます。

②アクティブ・ラーニングを教育方法として、全ての教育課程に極力取り入れます。

## (3) 評価

①本学は、学位授与の方針に掲げる能力・資質及びこれらの総合的な活用力の修得状況を、「短期大学レベル」、「学科・専攻(学位授与課程)レベル」、「学生個人レベル」の3つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価方法は、以下のイからハのとおりとします。

イ 短期大学レベルの評価は、(1)学修汎用ルーブリックの集計、(2)到達確認試験の結果、(3)特別研究の成果把握、により行います。

ロ 学科・専攻 学位授与課程 レベルの評価は、(1)到達確認試験の達成度による専門基礎知識の獲得度、(2)特別研究の評価及び学科・専攻が定める適切な方法、により評価します。

ハ 学生個人レベルの評価は、各々の学科・専攻が定める学位授与課程の卒業要件を満たし、(1)各科目のシラバスに定める成績評価、(2)学修成果の取りまとめとして特別研究に対するルーブリック評価、により総合的に行います。

## 入学者受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

本学は、本学での学修に対する目的や意欲を持ち、高等学校までの学習及び経験を通じての基礎的な知識・技能・態度を身につけ、さまざまな課題について主体的に考え実践し、その知識等や考え実践した事を表現し、多様な人々と協働しつつ学修する態度の基礎を身につけている人を受け入れます。

このような入学者を適正に選抜するため、以下の点に留意し、多様な選抜を実施します。

イ 高等学校卒業程度の教育課程を経て、基礎的な知識を修得していること

ロ 高等学校までの履修内容のうち日本語能力の基礎的な内容を身につけていること

ハ さまざまな課題について、知識や情報をもとに、筋道を立てて考えたことを表現できること

ニ 学びたい学科・専攻の知識や経験を多様な人々と協働して社会で活かしたいという目的意識と意欲があること

ホ 入学前教育として求められる基礎的な知識を身につけるための課題に最後まで取り組む意志があること